

様式1 令和4年度キャリア教育年間指導計画（全体計画）

都立	蔵前工業高等	学校	定時	制課程
----	--------	----	----	-----

○学校の教育目標

教育基本法に則り、互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識に満ちた、真理と平和を希求する人間の育成を期すとともに、工業に必要な知識と技能を持ち、社会に貢献しようとする個性と創造力に富む技術者の育成を図ると同時に、公共心を持つ自立した個人を育てつつ生きる力を身に付けさせる。

○前年度のキャリア教育における成果と課題

・学校全体で卒業年度生に対する進路指導を徹底した結果、進路決定率100%を達成した。
 ・次年度の科目選択時に、将来の進路を踏まえた選択ができるよう、事前の指導を行う。現在が将来へとつながることの意識付けは出来ているが、1・2学年の生徒は、将来の進路に対する意識がなかなか高まっていない現状がある。

○生徒の現状

将来に希望をもち、資格取得に意欲的な生徒がいる一方、卒業することだけを目指してしまい、将来の生き方・働き方について考え、選択・決定することを先送りする傾向が強い。また、就職を希望する生徒も、自分が就きたい職業などを決められない生徒もいる。基礎・基本の定着が不十分な生徒が多く、学校行事を欠席してしまう生徒も若干数みられる。約5割の生徒がアルバイトをしており社会性を育む一方で、一部の生徒は学業と仕事の両立ができず遅刻がちなることも見受けられる。

○目指すべき生徒の姿

・社会の中で自分の役割を果たしながら互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識に満ちた生徒
 ・ものづくりを通して基礎・基本の定着及び学習意欲の向上を図り、社会に貢献しようとする生徒
 ・自己の進路適正を考慮しながら、主体的に進路選択・決定できる能力を身に付けた生徒

○キャリア教育の目標

・自分の役割を果たしつつ他者と協調して社会に参加する能力、適切な自己表現を通して、自己実現を図る力を育成する。
 ・資格取得などを通して、学校で学ぶことと社会・職業との関連や自ら主体的に取り組まなければならないことを理解する力を育成する。
 ・進路や職業に関する情報を収集するとともに、自己の進路や生き方に必要な情報を取捨選択・活用する力を育成する。

○系統的計画的な取組の内容

○キャリア教育の推進組織 工業科、進路指導部

	1年	育成能力	2年	育成能力	3年	育成能力	4年	育成能力
校務分掌	・生徒総会・避難訓練(生指部) ・スポーツ大会(生指部) ・薬物乱用防止教室(生指部) ・セーフティ教室(生指部) ・労働法の学習(進路部) ・職業適性検査の実施(進路部) ・令和4年度都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業の実施(進路部)	① ① ① ① ① ② ③	・生徒総会・避難訓練(生指部) ・スポーツ大会(生指部) ・薬物乱用防止教室(生指部) ・インターンシップ(進路部) ・労働法の学習(進路部) ・職業適性検査の実施(進路部) ・令和4年度都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業の実施(進路部)	① ① ① ① ① ② ③	・生徒総会・避難訓練(生指部) ・スポーツ大会(生指部) ・薬物乱用防止教室(生指部) ・進路講習会の実施(進路部) ・インターンシップ(進路部)	① ① ① ④ ②		
教科	・【工業科】資格検定取得推進 ・【工業科】工業技術への関心 ・【国語科】基本読解法を習得 ・【地歴科】社会的事象に対する関心と問題意識を高める ・【数学科】基本計算能力の向上 ・【外国語】英語の4技能育成	④ ③ ① ① ① ①	・【工業科】職業体験実習 ・【工業科】建築工学科講演会 ・【工業科】工業技術の基本定着 ・【国語科】難易度の高い小説・評論の読解	④ ③ ④ ①	・【工業科】資格検定取得推進 ・【工業科】職業体験実習 ・【工業科】専門性をより深める ・【工業科】建築工学科講演会 ・【外国語】身近な表現でコミュニケーション能力を高める。 ・【家庭科】実生活において自立できる力を身に付ける	④ ④ ① ① ④ ①		
特別活動	・新入生オリエンテーション(学年) ・グループエンカウンター実施(委員会) ・遠足・校外学習(学年) ・部活動体験週間(生指部) ・学校行事における生徒会運営	② ① ① ① ①	・遠足・校外学習(学年) ・部活動体験週間(生指部) ・文化祭などにおける生徒会運営	① ① ①	・遠足・校外学習(学年) ・修学旅行(学年) ・部活動体験週間(生指部) ・文化祭などにおける生徒会運営	① ① ① ①		
総合的な時間			・事前ガイダンス ・防災・災害支援学習 ・道徳(ホスピタリティ) ・周辺環境、防災・災害支援学習 ・校外学習事前事後指導 ・周辺環境整備 ・「人間と社会」まとめ	① ③ ③ ③ ③ ③ ②	・研究課題の検討・決定 ・学習計画の立案 ・研究テーマに関わる情報の検索、取捨選択(学年末まで) ・資格取得、調べ学習、作品の製作(学年末まで)	③ ② ③ ④		

具体的な連携先（その内容）

NPO等	・ハローワークや企業との連携によるアルバイト等の就労指導 ・東京建設業協会との連携による現場見学の実施 ・ゼネコン大手企業、建設業協会、全国建設室内工業業協会が製作したDVDの活用 ・卒業生の就職先と連携を図り、卒業生が働いている様子を動画撮影しDVDに記録 ・8月、12月、地元企業に依頼し、インターンシップを実施
小・中学校	・中学生に向けた一日体験入学、学校説明会、授業公開を実施 ・本校の特色を掲載した学校だよりの配布並びに中学校訪問の実施 ・卒業生の進学先と連携を図り、卒業生が学んでいる様子を動画撮影しDVDに記録 ・専門学校から講師を招き、説明会を実施
都・区・市・町・村の（公的組織）	・地域教育支援部生涯学習課計画係による、令和3年度都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業を3種類実施 ・ハローワーク上野、東京仕事センターと連携し、充実した就職指導を実施
保護者・同窓会	・卒業生による進路講話を実施
地域・その他	・学校周辺の地域清掃を実施

